

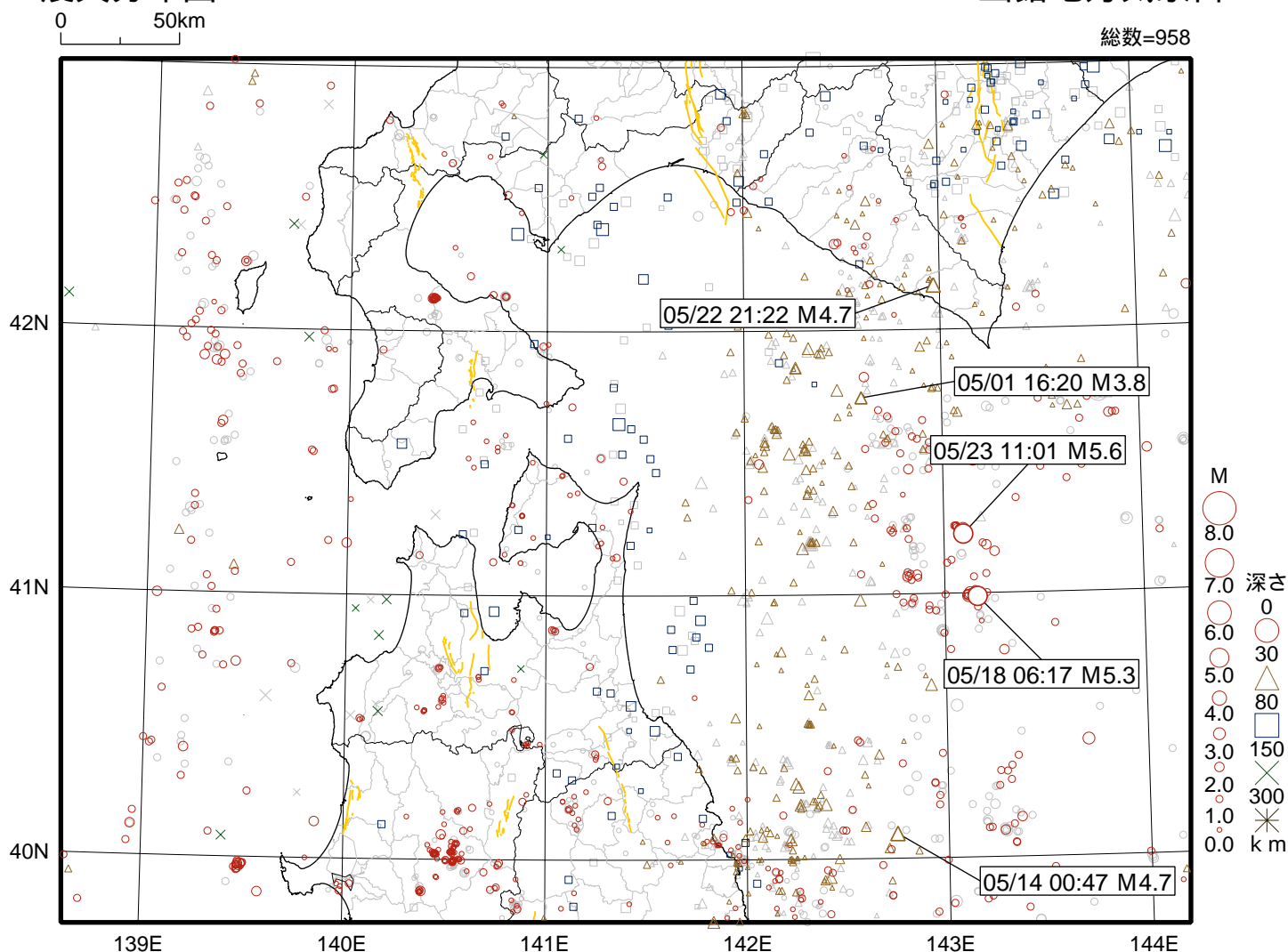
渡島・檜山地方の地震活動図

2022年5月1日～2022年5月31日

震央分布図

函館地方気象台

総数=958



地震概況（2022年5月）

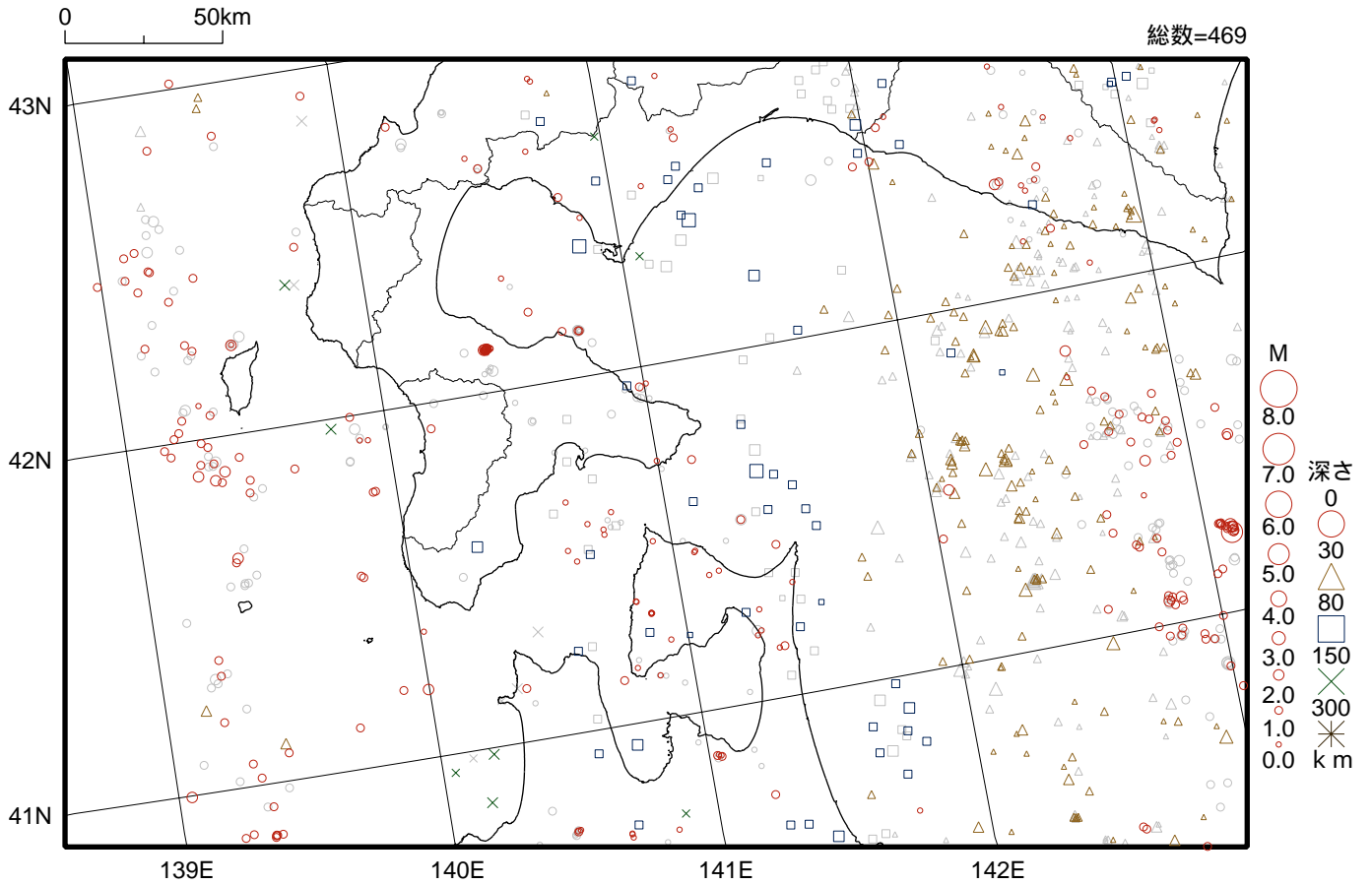
この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は5回（4月は7回）でした（詳細は「渡島・檜山地方で震度1以上を観測した地震の表」参照）。

18日06時17分、青森県東方沖の地震(M5.3、深さ21km)により、函館市泊町、函館市新浜町で震度2を観測したほか、函館市美原、七飯町で震度1を観測しました。

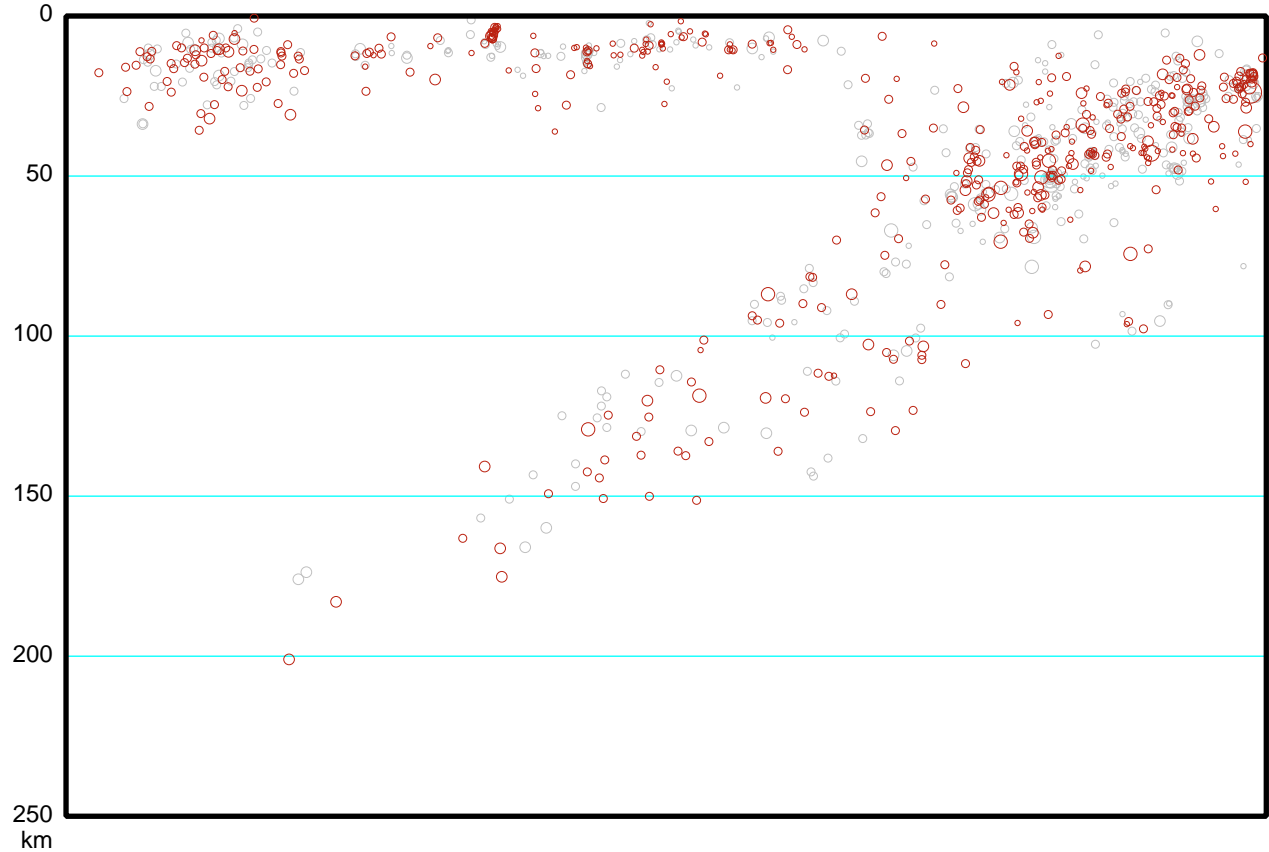
23日11時01分、青森県東方沖の地震(M5.6、深さ24km)により、函館市泊町、函館市新浜町で震度2を観測したほか、渡島地方で震度1を観測しました。

2022年5月1日 ~ 2022年5月31日

震央分布図



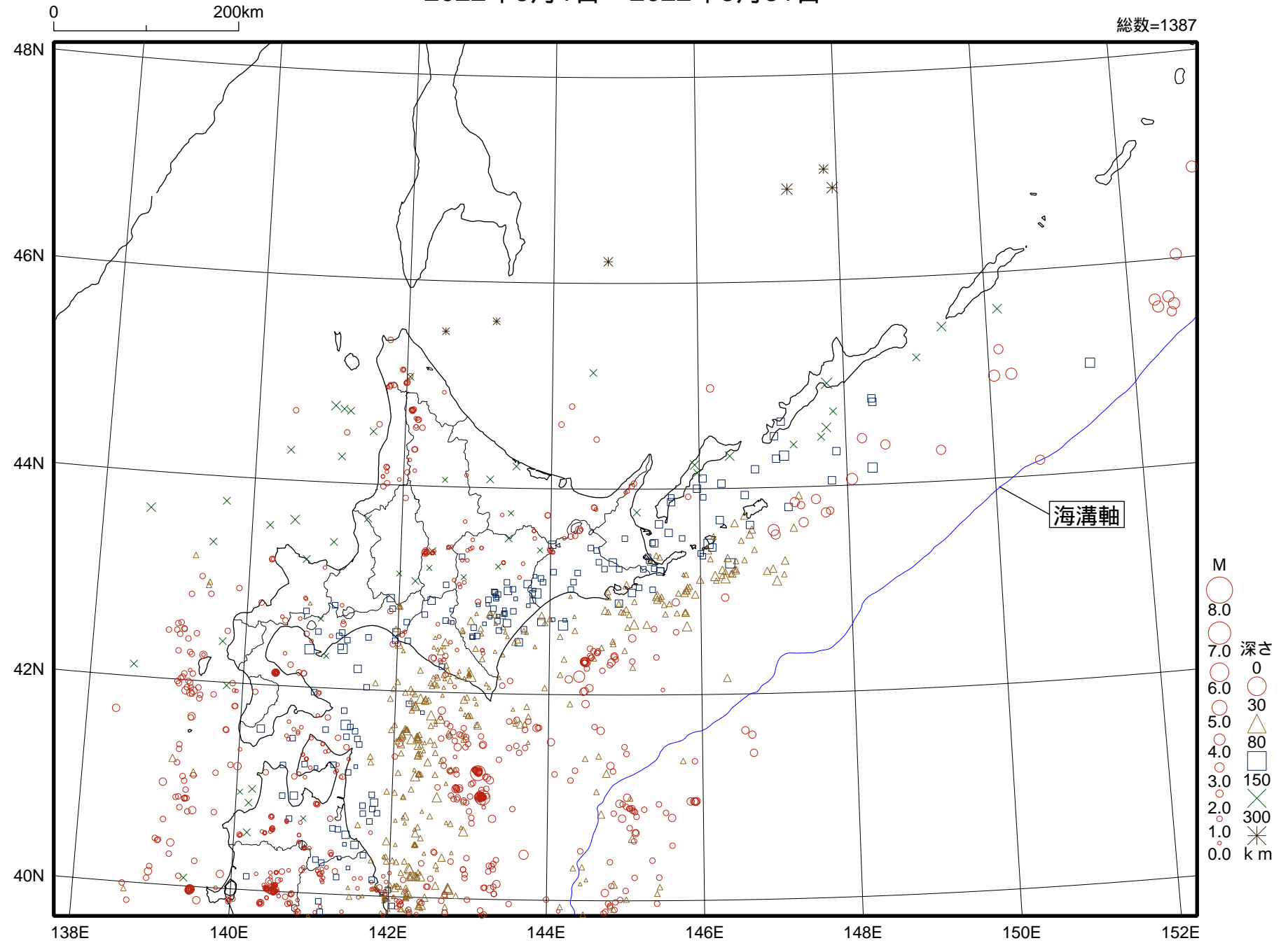
断面図



北海道の地震活動図

2022年5月1日 ~ 2022年5月31日

震央分布図



渡島・檜山地方で震度 1 以上を観測した地震の表 (2022年5月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (km)	規模 (M)
2022年 5月 1日 渡島地方	16時20分 震度 1	浦河沖 函館市泊町 * (08)	41 ° 44.6 N	142 ° 35.5 E	34 km	M3.8
2022年 5月14日 渡島地方	00時47分 震度 1	岩手県沖 函館市泊町 * (11) 函館市新浜町 * (05)	40 ° 05.6 N	142 ° 44.7 E	34 km	M4.7
2022年 5月18日 渡島地方	06時17分 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (20) 函館市新浜町 * (17) 函館市美原(09) 七飯町桜町(06)	40 ° 59.2 N	143 ° 09.8 E	21 km	M5.3
2022年 5月22日 渡島地方	21時22分 震度 1	日高地方東部 函館市泊町 * (12) 函館市新浜町 * (14) 函館市川汲町 * (10)	42 ° 10.0 N	142 ° 58.1 E	43 km	M4.7
2022年 5月23日 渡島地方	11時01分 震度 2 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (21) 函館市新浜町 * (19) 函館市美原(11) 函館市大森町 * (11) 函館市川汲町 * (06) 函館市日ノ浜町 * (13) 七飯町桜町(07) 七飯町本町 * (07) 鹿部町宮浜 * (08) 福島町福島 * (05)	41 ° 13.4 N	143 ° 05.8 E	24 km	M5.6

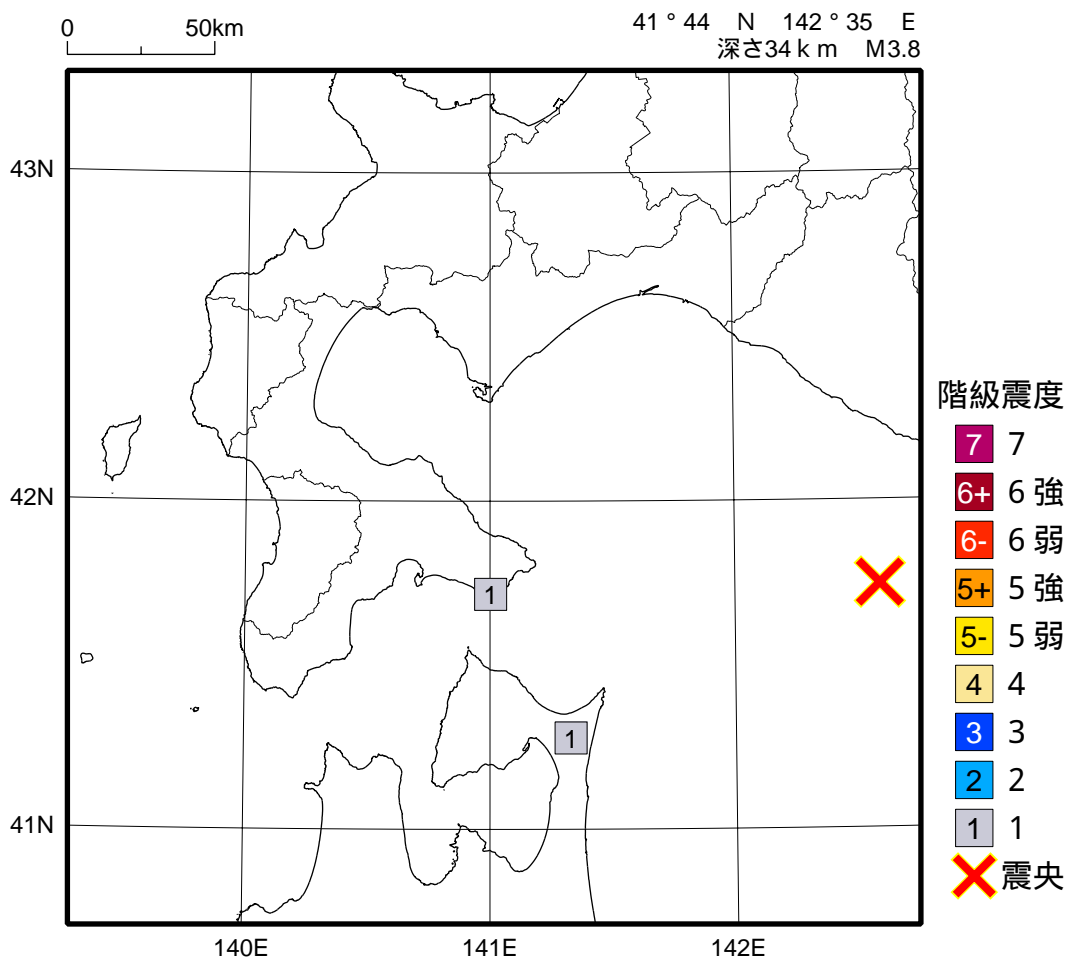
*のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

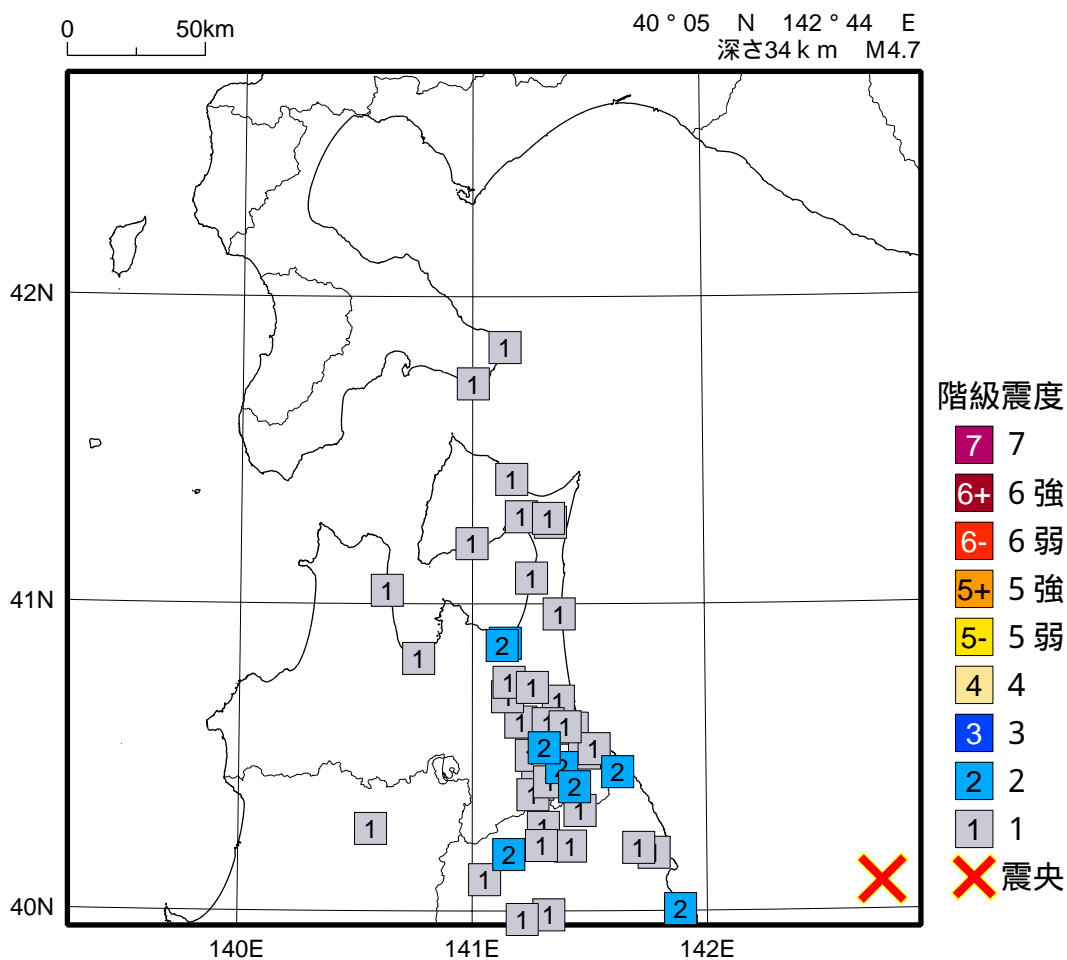
計測震度と震度階級の関係

計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

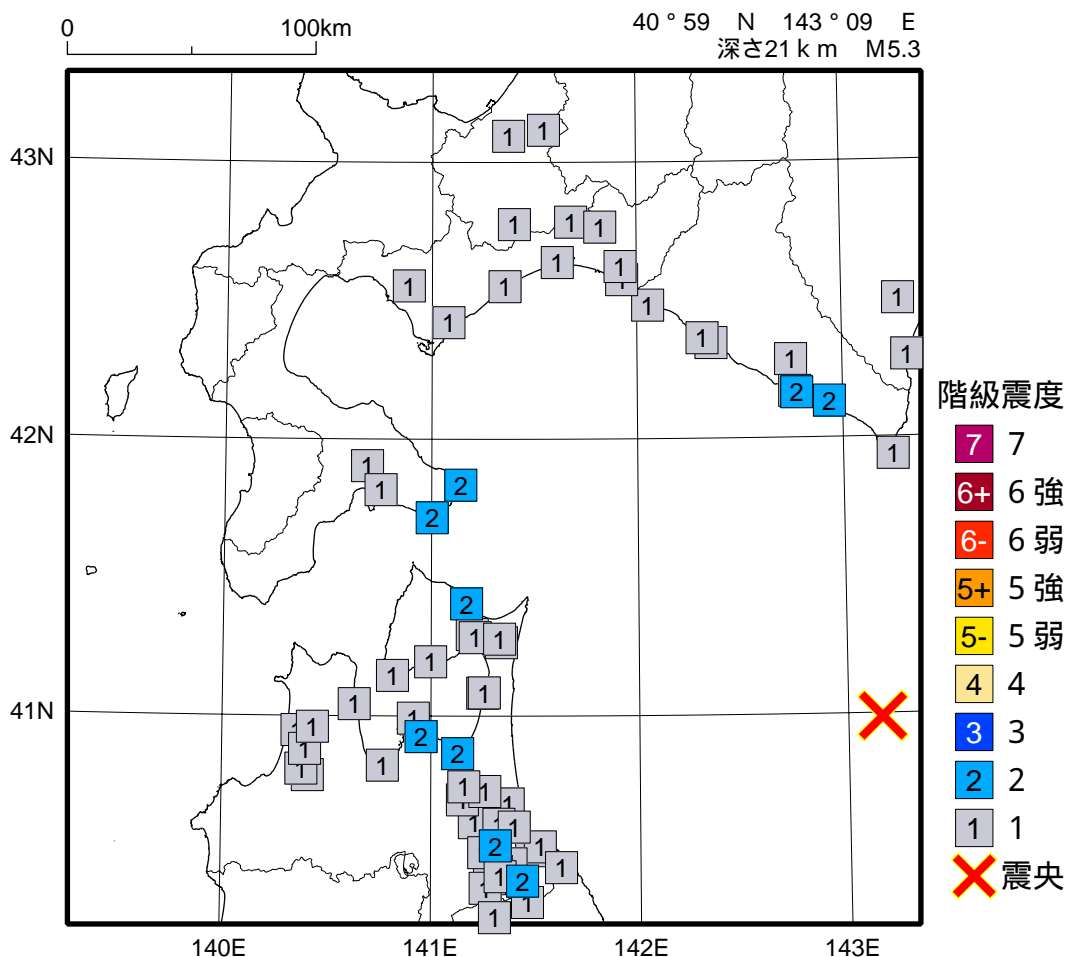
2022年 5月 1日16時20分 浦河沖の地震の震度分布図



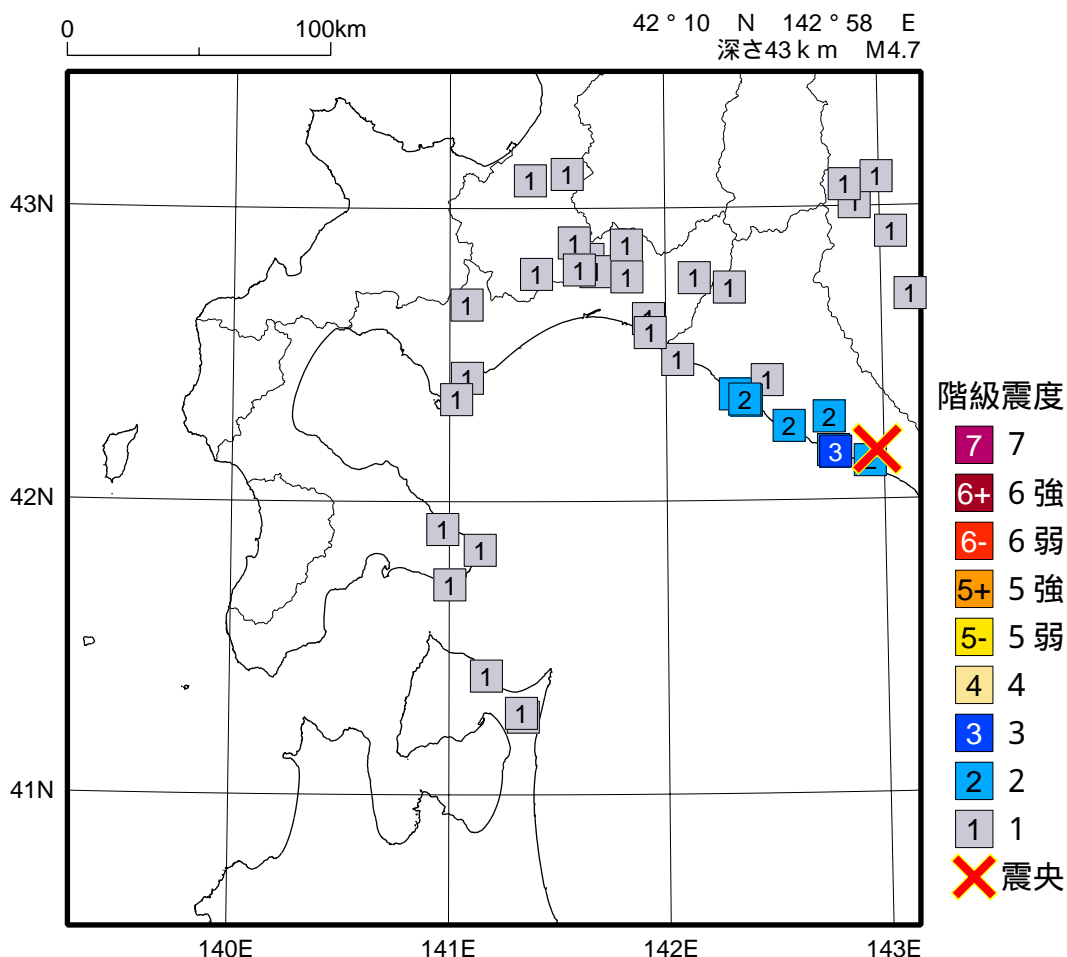
2022年 5月14日00時47分 岩手県沖の地震の震度分布図



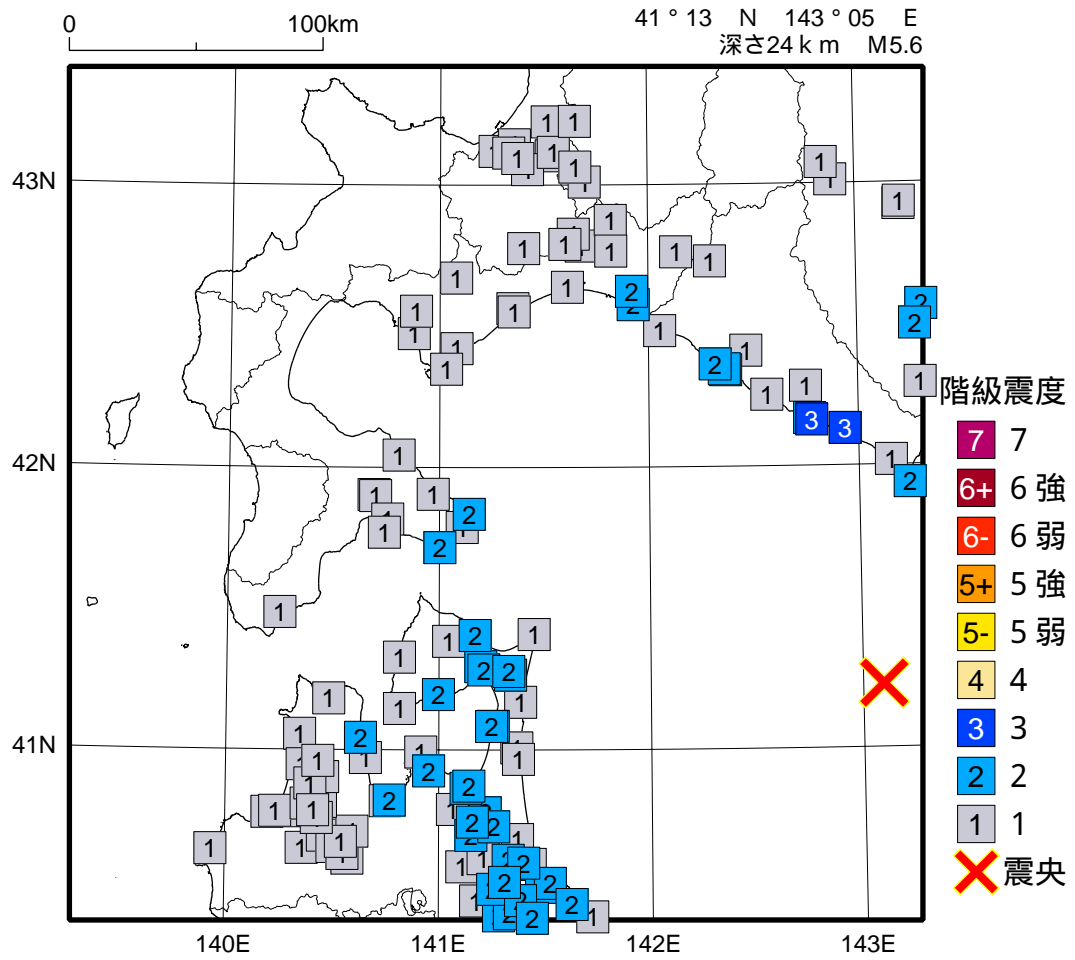
2022年 5月18日06時17分 青森県東方沖の地震の震度分布図



2022年 5月22日21時22分 日高地方東部の地震の震度分布図



2022年 5月23日11時01分 青森県東方沖の地震の震度分布図



本資料の利用にあたって

- ・ 本資料の震源要素及び震度データは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
- ・ 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- ・ 図中橙色の線は、地震調査研究推進本部が地震発生可能性の長期的な確率評価を行った主要活断層を表します。
- ・ 過去の地震と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。
- ・ 本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号平29情使、第798号）。

【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時には地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下「津波警報等」）を津波予報区単位（図1）で発表します。

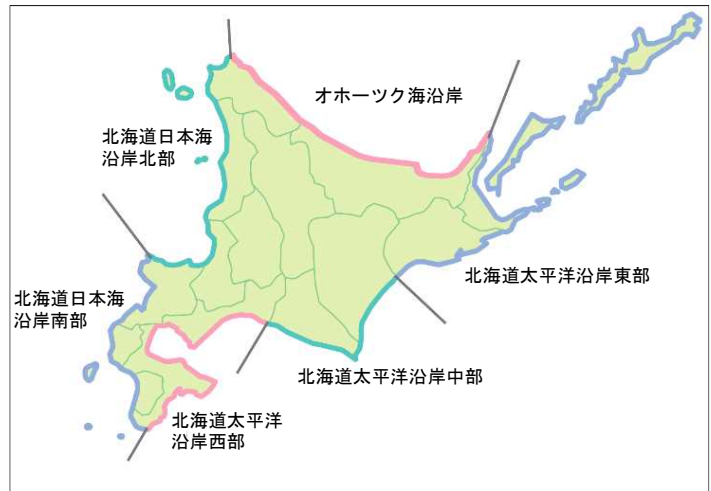


図1 北海道の津波予報区

1. 津波警報等で予想される津波の高さ

津波警報等では、予想される津波の高さを通常5段階の数値で発表します（表1）。ただし、地震の規模（マグニチュード）が8を超えるような巨大地震では地下の岩盤の破壊が数分程度も続くことから、すぐに精度の良い地震の規模を求めることが出来ず、地震発生直後には津波の高さも正確に予想できません。そこで、最初に発表する津波警報等では、その海域で想定される最大規模の津波をもとに、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉で発表し、非常事態であることを伝えます。その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。

表1 津波警報等の種類ととるべき行動（気象庁リーフレット「津波防災」より）

	予想される津波の高さ		とるべき行動	避難の範囲
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> <p>津波は繰り返して襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>	<p>お住まいの市町村の津波ハザードマップ等で、浸水が想定される区域を確認しておきましょう。</p> <p>また、津波の規模は様々であり、実際には浸水想定を上回る津波が襲ってくることもあるので、最大限の避難を心がけましょう。</p>
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い		
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	<p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>	

2. 津波警報等と避難のポイント

- ・震源が陸地に近いと津波警報等が津波の襲来間に合わないことがあります。沿岸で強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- ・津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- ・津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- ・津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報等が解除されるまでは、避難を続けましょう。